第1013回教育委員会会議録概要

1 日 時 平成26年11月26日(水)午後3時00分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 吉井委員長 西野委員 清川委員 川畑委員 小泉委員 林教育長
国久企画幹 三田村企画幹(学校教育) 松田企画幹(高校改革)
上野企画幹(義務教育) 穴吹教育振興課長 田中高校教育課長
山元生涯学習・文化財課長 吉野スポーツ保健課長
山谷藤島高等学校教諭(岡崎高等学校派遣)
富田武生高等学校教諭(熊本高等学校派遣)
大崎芦原中学校教諭(東京芸術大学研修員)

4 議 題

日程第1 第35号議案 福井県教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する
条例の一部改正について

日程第2 第36号議案 福井県ふるさと文学館の設置および管理に関する条例の
制定について

日程第3 第37号議案 福井県立学校の管理運営に関する規則等の一部改正に
ついて

日程第4 第38号議案 教育職員免許に関する規則の一部改正について

日程第5 第39号議案 福井県教育委員会分限処分指針の制定について

5 審議事項

(1) 開会宣告 午後3時00分

(2) 会議録署名人の指名 西野委員 清川委員

(3) 議事要録

委員長 本日の日程第1、第35号議案から日程第5、第39号議案および報告
事項の4については、事務執行上公開が適当でないことから、非公開とい
たしたい旨発議

———当該議案を非公開と決定———

委員長 日程第1、第35号議案を議題

教育振興課長 資料に基づき説明

委員長 第35号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

委員長 日程第2、第36号議案を議題とする。

生涯学習・文化財課長 資料に基づき説明

川畑委員 入館料は必要か。

生涯学習・文化財課長 無料である。

委員長 第36号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

委員長 日程第3、第37号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

清川委員 高志中学校を退学した場合、どうなるのか。

高校教育課長 県立中学校を退学した場合は、その生徒の地元中学校に通うこととなる。

清川委員 それは、転学とは言わないのか。

高校教育課長 転学ではなく、退学である。

西野委員 高志中学校を途中で退学した場合、人数の補てんはあるのか。

高校教育課長 補てんは行わない。

委員長 第37号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

委員長 日程第4、第38号議案を議題

企画幹（義務教育） 資料に基づき説明

清川委員 特例制度では、保育士として最低在職年数3年となっているが、働き始めて1～2年の保育士には適用されないのか。また、8単位を取得するには、どれぐらいの時間が必要なのか。

企画幹（義務教育） 最近は、幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を持っている方が多いため、比較的年齢層の高い方が該当する。通信教育で受講する場合は、1単位取得するために約15時間、大学で受講する場合は、4単位取得するために約50時間必要である。

委員長 福井県内で受講できる大学はあるのか。

企画幹（義務教育） 現在のところない。

委員長 第38号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第5、第39号議案を議題

教育振興課長 資料に基づき説明

清川委員 これは、初めて定めるものか。

教育振興課長 法律では定めがあるが、教育委員会で分限処分を行う場合の手続きを定めるのは、今回が初めてである。知事部局では、既に平成24年に施行している。

委員長 身体の病気、心の病気いずれも早期発見、早期治療が重要である。早期に対応することで長引かないようにすることも必要かと思う。

委員長 第39号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

◎協議・報告事項

協議事項

(1)「福井の教育」向上会議について

委員長 各分野の専門家である委員から、多岐にわたるご意見をいただいた。中でも、5歳児までの幼児教育が肝心であるとの意見が印象に残った。

西野委員 幼児教育の重要性について、教育経済学の専門家である委員と、直接子どもと接している委員の意見が、結果的に一致していることに感銘を受け

た。

清川委員 幼児教育についての意見があったようであり、次回からは、関係団体の方にオブザーバーとして来ていただければどうか。

報告事項

(1) 大学進学対策（他県派遣教員からの報告等）について

委員長 進学面について、福井県の高校と両校との違いは何か。

富田武生高等学校教諭（熊本高校派遣） 福井県は、現役志向が強いように思う。熊本高校は、センター試験の前に志望校を決定してしまうが、福井県は、センター試験の後に志望校を決定する。

山谷藤島高等学校教諭（岡崎高校派遣） 福井県は、教員の指導が手厚いように思う。現役志向が強いため、どのような大学が適切かということについても時間をかけて指導する。第1志望を貫きたいという生徒は、岡崎高校の方が多いように思う。

(2) 東京芸術大学派遣教員からの美術教育に関する報告について

西野委員 他の教員への指導は、特別に時間を設けて行っているのか。

大崎芦原中学校教諭（東京芸術大学研修員） 夏休みを利用して行っている。

西野委員 子どもたちが日本画を描く機会は、なかなかない。今後ともこのような取組みを進めていただきたい。

(3) 福井県学力調査（SASA2014）の実施について

(4) 平成26年全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

委員長 本日の会議の終了を宣告